

1. 評価結果概要表

作成日 平成 19 年 11 月 22 日

【評価実施概要】

事業所番号	2172800290		
法人名	特定非営利活動法人 すずらの木		
事業所名	NPOグループホーム すずらの木		
所在地	岐阜県下呂市萩原町羽根437番地1 (電話) 0576-52-2062		
評価機関名	NPO法人ぎふ福祉サービス利用者センター びーすけっと		
所在地	各務原市三井北町3丁目7番地 尾関ビル		
訪問調査日	平成19年11月14日	評価確定日	平成19年12月14日

【情報提供票より】 (平成 19 年 10 月 20 日 事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 16 年 3 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	18 人	常勤 11 人, 非常勤 7 人, 常勤換算	15.5 人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	2 階建ての	1 ~	2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	28,000 円	その他の経費(月額)	18,000~ 円
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	1,050 円	

(4) 利用者の概要 (平成 19 年 10 月 20 日 現在)

利用者人数	18 名	男性 5 名	女性 13 名
要介護1	7 名	要介護2	5 名
要介護3	3 名	要介護4	3 名
要介護5	名	要支援2	名
年齢	平均 84.3 歳	最低 77 歳	最高 90 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	県立下呂温泉病院・萩原北病院
---------	----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

幹線道路より少し入った広い敷地に、居室の全てが南向きなっている木造2階建てのホームである。法人の下、運営方針にケア目標を高く掲げ、管理者・職員が一丸となってサービスの質の向上を目指して取り組んでいる。理念にも掲げてある利用者の尊厳を守りながら、自立した生活を目標に、最期までその人らしい生き方を支えながら、ターミナルも視野に入れた対応をしている。利用者の安全と安心が得られるよう隣接内科医院との連携を強め、地域との交流にも積極的に参加するなど、周辺住民からの信頼も厚く、グループホームの役割の理解が広がっている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回課題であった、廊下のカーペットは取り払われることによって解消し、1階の食堂の狭さも、広く増改築され、各テーブル間に余裕ができています。また、広げられた一部には、大型の掘りごたつが設けられ、10名以上が暖をとりながらの食事が可能となっている。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p>
	<p>新たな課題となったのは、県の指導基準により設置した、階段上り口及び踊り場床面に視覚障害者用の点字ブロックを模した床材に、利用者がつまずき転倒事故が起きているので、再発防止への対策を検討することになった。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議の討議内容は、地域との交流をどのように向上・発展させていくかについて話し合われている。地域の一員としての行事参加とホームのイベントへの地域住民へ呼びかけ等、積極的な取り組みがある。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>家族からの意見要望は、運営に反映されており、指摘する問題点は特に無いが、連絡の取り難い家族の意見をどう捉えていくかを課題としている。</p>
重点項目③	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p>
重点項目④	<p>設立から4年経ち、緩やかではあるが存在が認められ、現在では地域に必要なとの理解が徐々に高まってきている。地域との付き合いを向上・発展するために、今後も、時間と努力を積み重ね、地域との連携強化に繋げる姿勢にある。</p>

2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中で、その人らしい暮らしを支えるために、利用者の尊厳を守り、自立した生活を適える環境を作り出し、最期まで生きられるよう、支えてゆくサービスの提供に取り組んでいる。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を全職員が共有するために、勉強会や会議等、機会あるごとに話し合い、それを実践することで、自立への道を見出し、日々工夫を重ねている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域で開催される神寺の行事参加や年中行事にも積極的に参加したり、保育園との交流やボランティアの受け入れ等も行っている。また、デイサービスの開設を機に、密なる関係づくりに取り組んでいる。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は、全職員で取り組み、結果を基に評価を実施する意義の理解に努めている。一方で、そこから生じた改善すべき点は、実施できることから、職員に役割と分担を委ね、ケアへの活用を図っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	グループホームの生活を知ってもらい、地域への活動強化につなげていくため、自治会・老人会等、会議参加者の理解を得て、ホーム行事に多くの周辺住民の参加を働きかけ、地域交流の実現に努めている。	○	さらには、運営推進会議でホームと家族との交流をめざす取り組み等の話し合いに発展していくことが望まれる。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の担当者が訪問する機会も多く、話し合いの場がもたれている。デイサービスの立ち上げ等での指導も受けている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	月々の請求明細書を送付する際に、利用者の生活状況を担当する介護者が、家族に手紙を書き連絡している。また、家族の訪問時には十分に話し合い、ケアに活かしている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族等より意見や苦情を聞き取り、業務日誌に記録すると共に、勉強会や会議等で十分な検討を行い、できるだけ見える形で運営に反映させている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	この1年間は、職員の退職・異動は無く、馴染みの職員の交代は極力避けるように努めている。ダメージへの対応については、日頃より話し合っている。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	ケアの質の向上を目指す一方で、職員の意欲を高めるため、資格取得を奨励し、結果を給与に反映するようにしている。そのため県内外の研修には積極的に参加してもらい、結果を報告して内容を共有している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	飛騨地区グループホーム連絡協議会は、3ヶ月毎に行われ、情報交換している。また、2ヵ月毎に行われるケアマネジャーの交流会にも参加している。	○	交流は管理者やケアマネジャーレベルでとどまるのではなく、直接ケアに携わっている職員も他ホームの職員と交流できる機会が持てる様な取り組みに期待したい。
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前からホームを知ってもらうために、本人・家族に頻りに訪問してもらい、雰囲気や部屋の状況等体験を通し、徐々に馴染めるように努めている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者と同じ目線に立ち、食事作りや畑作業、雑巾縫いなどで教えを受けたり、感謝しながら支えあっている。仲間が亡くなったときには、共にお参りをし、哀しみを共有している。		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p> <p>1. 一人ひとりの把握</p>					
14	33	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>買い物に行きたい人、家の様子が気になる人、お墓参り里帰り等、一人ひとりの思いを把握し、支援に努めている。</p>		
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
15	36	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>全体会議で心身の状態を把握し、本人・家族の意見を聴きながら、担当者とケアマネジャーで利用者本位の介護計画を作成している</p>		
16	37	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3ヶ月毎に見直しをしている。状態の変化が生じれば、家族や関係者と相談しながら、随時見直しを行っている。</p>		
<p>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</p>					
17	39	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>外泊や特別な外出の支援を行っている。また、24時間の医療連携体制を取っている。</p>		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	隣接の医院が、かかりつけ医となっている。2週間に1度往診があり、歯科医は、必要に応じ往診の体制を取っている。	○	かかりつけ医による月1回の血液検査を、利用者全員に実施しているが、利用者ごとに必要頻度を関係者と検討されたい。
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用者が重篤に至った時には、医師・家族・ホームで十分な話し合いをし、終末期に向けた方針を確認している。どのように対応していくかを文章化し、家族の同意を取り付けている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	トイレ誘導への声かけや、入浴時のサービス提供において、利用者の羞恥心に配慮すると共に、言葉掛けでは、指示命令形にならないように心がけている。個人情報・記録等には、保管場所を定め十分な注意を払っている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	散歩・外出は原則自由になっており、朝の散歩、夏の夕涼み、買物等、一人ひとりの希望に沿って支援している。特に見守りが必要な利用者には、行動を規制することなく、職員が常に気配りをして対処している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事作りには利用者も加わり、盛り付け、配膳、片付け等、それぞれに役割を担っている。職員も一緒に食事を摂りながら、ゆっくりと楽しい食事風景が見られた。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	3日に1回の入浴を提供しているが、利用者の希望を取り入れ、日をずらしたり、時間を変えるなどで対応している。また、入浴拒否の強い人には、無理強いせず、足浴や清拭で代替している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	畑仕事や食事作りの役割を担ったり、朝市に出かけたり、買い物・散歩、得意な大正琴や三味線、カラオケなど、多様な気晴らしの機会を支援している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物・散歩を始め、喫茶店にも出かけている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	昼間は、玄関を含めすべての鍵を開放し、安全にも配慮しながら、利用者の自由な暮らしを支えている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練は、消防署の指導の下で、経路の確認も含め、職員・利用者が一緒になって行っている。また、災害用の備蓄3日分を確保している。	○	さらには、夜間を想定した訓練の取り組みに期待したい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	月1回の体重測定を行い、摂取量を調整し、栄養バランスを考えたメニューとなっている。水分量は、季節や個々の状態に応じ、小まめに提供している。	○	さらには、一人ひとりが適切な栄養を摂取できているか、専門の栄養士等からアドバイスを受けられる機会があると良い。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	内装は明るく、暖かい色彩に彩られ、所々には絵が掛けられ、落ち着いた雰囲気がある。広い居間には、やぐら炬燵も置かれ、飲み物は何時でも飲めるように用意するなど、快適に過ごせるように工夫している。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室への持ち込み、配置、飾りつけは、全て利用者・家族の自由に委ねられており、一人ひとり、思いおもしろい、居心地の良い居室づくりをしている。		

※ は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。